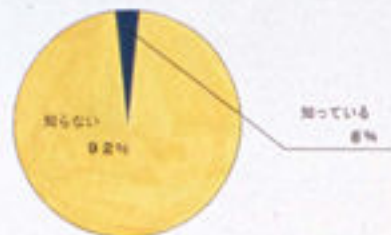


遊廓ってなに？ 其の一

「遊廓」と言う言葉を知っていますか？



残っている元遊廓

高校生30名に遊廓について知っているか質問したところ、74名は「知らない」と回答しました。現代の若い世代にとって、遊廓はその名も内容も全く知らない世界でした。「知っている」と答えた6名は、映画やテレビ、小説によって知っていたという事が分かりました。



松山藩政庁跡地

合法的に「売春」をしていた所＝遊廓

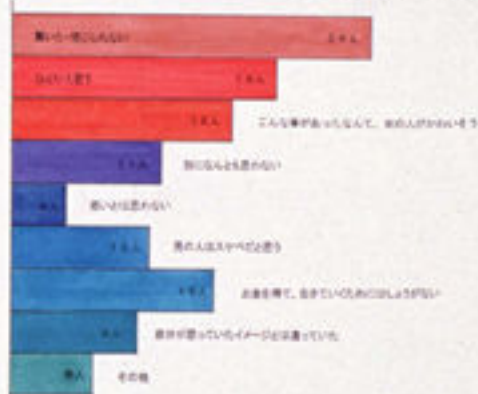
昭和32年、売春禁止法ができるまで、「売春」は職業として我が国に存在していました。合法的に売春が行われていた場所が遊廓です。

著(男)はそこで遊びました。そして、そこで働く女の人達は、今問題になっている援助交際とは違い、自ら望んで売春した人はいません。家が貧乏で、16歳から18歳のころには身を売って親兄弟を助けたり、親の借金のカケになったことが分かりました。

このような内容を調査した後、同じ30名に再び質問してみました。

遊廓についての内容を知って、

どう思いますか？



観光地・道後温泉の影に・・・

松山の町・松山には、有名な道後温泉があり、年間約120万人もの観光客が訪れ、また地元の人々にも愛されている温泉です。そのような町に遊廓の建物が残っていました。そこは昔、「松ヶ枝町」と呼ばれており、その町の名を聞けば「遊廓」と誰にも分かったそうです。

いくつかの建物は、昔のまま華やかな道後温泉の影のように今も残っています。



松山街で有名な道後温泉

遊廓の内容を知った時の感想調査からは、「悪い・悪い」と思ったり、「ひどい」など、感情的な反応を示すものが多かった。これは、元調査した者が知った時と同じものである。

また、男性と女性の性質(女の人がかわいそう、男の人はスケベ)を表す意見も多くあった。男女の根本的な差別もあると思う、「お金を得て、生きていく為にはしょうがない」というクールな意見もあった。

少数意見の中に、「遊廓の存在が昭和30年代(40年前)まであったことは、今日まで知らなかった。もし、この調査がなければ一生知らなかったと思う。」とあり、現代の高校生に気持ちも想像しているように感じ、印象に残った。

私たちは、その建物(遊廓)を調査することにしました。

遊廓ってなに？ 其の二



張り見世の間にある部屋で、友の人が化粧を直した。化粧タンスも置かれていた。友のつかい女の人はこの部屋で化粧直した。

化粧・衣装部屋

階段

客のついた友の人が張り見世から上階に上がる階段、友の人はこの階で客と顔を合わせた。

張り見世(店)

目が見える店になる。この部屋に客が来た。道路にあって客には椅子がはまり、外からは中に見える友が見え、土間の土間からも客が覗きこめるようになっている。部屋の北は、張り見世からついたと言われる。

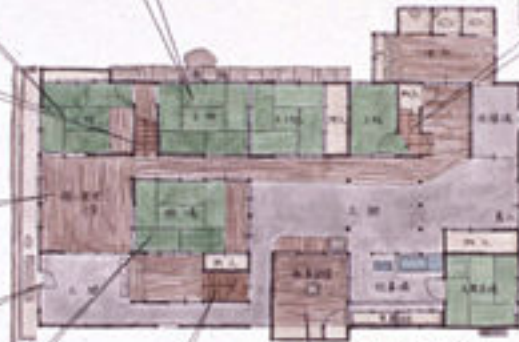
出入口

裏通りから建物に入る出入口。この所に客のついた友の「兄さん、通んでいかんかな、ええ子があるぞな」と言葉をかけ、それを客が通んで入った。

帳場

張り見世に続く帳場は、金の受け取り、出入りする人のチェック、預り客の帳簿、友の人が客をとった時間などの帳簿があった。土間がよく見え、土間に上がる階段の近く、客にもつながる位置に置かれている。

帳場の後ろ、吹き抜けの二階が見える所に主人が座った部屋がある。経営者はお父さん、お兄さんと呼ばれ、この部屋から暇をきかした。主人の部屋



1階平面図

正面階段

客が2階に上がる階段。建物にすぐに置かれ、外側への扉は扉の時は裏から出て、新たに来た客と顔を合わせないようにしていた。

食事へや

友の人が客をとった部屋。一人一人の部屋があり、仕事の間にかきこむように食事をとった。テーブル囲いの食事はない。

友の人が客をとった部屋。この建物では客あらか、どの部屋も決まったように天井は四角平、客を囲入るといふ意味からか、床の間にあり、階段を自動する押入れもある。階段の裏には友の人のセンターの部分に物が貼ってある。階段がすれて壁の上の落ちるのを防ぐ。窓は障子一枚。客の顔を考えると、大変だったと言われる。客をとる部屋



客が帰る時、右側へ裏通りに行くときに使う階段。裏の階段



2階平面図

裏口

客が帰る時に使った出入口。特に夜は客は裏口から縦に裏路地から裏路を出た、入目を避け、こそこそと帰ったと言う。

散財部屋

裏に置いた土間に建てられた部屋が3室ある。壁に壁付された、客が酒をのみ、友の人は酒を飲や、三杯酒・大鼓の舞じた。散財部屋と呼ばれ、客は酒を多く飲んだ。ほかの客の宴会に負けないようにと、客は酒場の縁をゆるめ散財したことからついた部屋の名。賑やかな間は、三杯・大鼓の音は絶えなかったと言われる。



